

財政のあらまし

令和6年6月

神戸市

本書は、予算・決算など市の財政事情を市民のみなさんにお伝えする資料です。

毎年6月と12月の年2回作成しています。

今回の令和6年6月号では、令和6年度当初予算の概要と、令和5年度下半期（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）の財政運営の状況についてご説明いたします。

目次

I. 令和6年度当初予算のあらまし

1	令和6年度予算について.....	1
2	予算の概要.....	2

II. 令和5年度下半期の財政運営のあらまし

1	予算の執行状況.....	3
2	市民負担の状況.....	3
3	市有財産の状況.....	4
4	企業会計の業務状況.....	5
5	一時借入金の状況.....	6
6	市債の状況.....	6

※各計数は、項目ごとに表示単位を四捨五入しているものがあるため、
合計と積上げが一致しない場合があります。

※各計数は、速報値のため、決算とは異なる場合があります。

1. 令和6年度当初予算のあらまし

1 令和6年度予算について

令和7年1月には阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。神戸はこれまで市民が力をあわせ、ともに助け合うことで、震災の苦難を乗り越え、復興と発展を果たしてきました。一方で、東京一極集中や孤独・孤立、地域社会の希薄化、長引く物価高騰や気候変動による自然災害の増加など、多くの政策課題に直面しています。中でも全国的な少子・高齢化に伴う人口の自然減が加速し、本市においても人口減少の傾向が顕著になっています。

今後は、本市が保有するデータやエビデンスに基づいた政策立案（EBPM）により、人口の減少幅をできる限り抑制するとともに、人口減少時代にふさわしいまちづくりを進めていくことが重要です。SDGs（持続可能性）の視点に基づいた施策を積極的に展開することにより、くらしの質と都市の価値を高め、市民一人一人が幸せを実感でき、温かみのあるまちづくりを進めてまいります。

また、果敢な成長戦略により、都市の成長を促す好循環を創出していくことで、将来世代が過度な負担を背負い込むことがないように、未来を見据えた持続可能な自治体経営を行ってまいります。さらに、神戸空港の国際化に向けた取り組みをはじめ、国際都市としての価値を高め、神戸を「さらなる高み」へ押し上げることで、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現を確かなものにしていきます。



ひさもと きぞう

神戸市長 久元喜造

6つの柱

- 1 市民のくらしと安全を守る
- 2 人間らしい温かい街を創る
- 3 持続可能な神戸を創る
- 4 活気と魅力あふれる神戸を創る
- 5 新しい国際都市 神戸を創る
- 6 DXの活用による参画を進める

■ 令和6年度当初予算額

	令和6年度	令和5年度	対前年度比
一般会計	9,056億9,400万円	8,793億9,800万円	+ 262億9,600万円
特別会計	6,711億円	6,802億5,000万円	△ 91億5,000万円
企業会計	3,501億9,500万円	3,284億1,800万円	+ 217億7,700万円
合計	1兆 9,269億8,900万円	1兆 8,880億6,600万円	+ 389億2,300万円

(注)詳細については、神戸市のホームページ「令和6年度当初予算の概要」をご覧ください。
<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/48584/2024yosanngaiyou.pdf>

(1) 一般会計

SDGsの視点に基づき「神戸2025ビジョン」に掲げる施策を取り組むことで、くらしの質と都市の価値を高めるとともに、果敢な成長戦略により、都市の成長を促す好循環を創出していくことで、未来を見据えた持続可能な大都市経営を実現していくための予算を編成しました。

(2) 特別会計

超高齢社会の進展に伴い後期高齢者医療事業費が増加した一方で、市営住宅マネジメント計画の事業進捗に伴い市営住宅事業費が減少しました。

(3) 企業会計

企業債償還の減等により下水道事業会計が減少した一方で、新産業団地の整備等により新都市整備事業会計が、空港整備事業費への貸付金の増により港湾事業会計が、それぞれ増加しました。

用語の解説

- ◆一般会計 福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計（財布）です。主に市税や地方交付税などによってまかなわれます。
- ◆特別会計 特定の事業を特定の歳入によって実施するための会計の総称です。一般会計と区分して整理することで、個々の事業の収支や運営実績が明確になります。国民健康保険事業費や市営住宅事業費など、本市では11会計あります。
- ◆企業会計 地方公共団体が直接、社会公共の利益を目的として経営する地方公営企業の会計の総称です。主に利用者のみなさんが支払う料金収入で事業を行います。交通事業や上下水道事業など、本市では7会計あります。

II. 令和5年度下半期の財政運営のあらまし

1 予算の執行状況

■ 令和5年度現計予算額

	当初予算額	補正予算額 (上半期)	補正予算額 (下半期)	現計予算額
一般会計	8,793億9,800万円	177億 300万円	629億9,000万円	9,600億9,100万円
特別会計	6,802億5,000万円	-	110億4,900万円	6,912億9,900万円
企業会計	3,284億1,800万円	-	47億8,100万円	3,331億9,900万円
合計	1兆 8,880億6,600万円	177億 300万円	788億2,100万円	1兆9,845億8,900万円

■ 一般会計・特別会計の執行状況（令和6年3月31日現在）

（一般会計）

	予算現在額	執行（収入）額	執行（収入）率
歳出	1兆42億円	6,467億9,100万円	64.4%
歳入	1兆42億円	7,581億0,100万円	75.5%

（特別会計）

	予算現在額	執行（収入）額	執行（収入）率
歳出	6,982億1,000万円	6,119億7,800万円	87.6%
歳入	6,982億1,000万円	4,917億3,500万円	70.4%

（注）予算現在額には前年度予算からの繰越事業費を含みます。

2 市民負担の状況

一般会計の令和5年度現計予算額における市民のみなさんの直接負担となる市税の予算額について、1世帯・1人あたりの額は、次のとおりとなっています。

	歳入総額	うち市税 (歳入総額に対する割合(%))	1世帯あたり 負担額	1人あたり 負担額
現計予算額	9,601億円	3,149億円 (32.8%)	422,991円	210,655円

（注）令和6年3月1日時点の世帯数744,521世帯、人口1,494,988人で算出しています。

3 市有財産の状況

財産とは、公有財産、物品、債券および基金です。

このうち、公有財産とは、市が所有している財産で、土地、建物、地上権、地役権、有価証券、出資による権利などの財産をいいます。

令和6年3月31日現在

種類	数量				備考
	単位	行政財産	普通財産	計	
土地	㎡	49,944,561	25,183,711	75,128,273	
建物	延㎡	6,620,469	481,220	7,101,689	
立木	㎡	-	143,728	143,728	
船舶	隻	1	-	1	消防艇
浮棧橋	基	1	-	1	
航空機	機	2	-	2	ヘリコプター
地上権	㎡	1,763	1,420	3,183	
地役権	㎡	12,683	-	12,683	
温泉権	件	9	1	10	銀泉、しあわせの村温泉等
無体財産権	件	-	50	50	えがおの窓口、神戸ウイングスタジアム商標権等
有価証券	千円			13,353,650	関西国際空港土地保有株式会社株券等
出資による権利	千円			263,326,029	日本高速道路保有・債務返済機構出資金等
物品	点			7,056	
債権	千円			92,755,489	
基金	千円			516,987,282	

※繰替運用の残高

(単位：百万円)

基金名	運用残高	内容
神戸市市民福祉振興等基金	1,010	有料老人ホーム「サン舞子マンション」建設資金等
神戸市営住宅敷金等積立基金	205	鹿の子台南住宅取得資金等
合計	1,215	

用語の解説

- ◆行政財産 庁舎、事務所、学校、公園など、公用または公共用に利用される財産をいいます。
- ◆普通財産 行政財産以外のすべての公有財産をいいます。

令和6年3月31日現在

会計別	業務の予定量
下水道事業会計	(1) 下水及びし尿処理 : 下水処理量 477,539m ³ /日 し尿処理量 84m ³ /日 (2) 汚水中継及び雨水排除 : 汚水中継量 68,663m ³ /日 雨水排除量 9,368,166m ³ /年
港湾事業会計	(1) 港湾管理 : 岸壁 5,500万 t 物揚場 17万 t 埠頭用地 専用1億8,000万 m ² 、一般4,600万 m ² 港湾幹線道路 700万台 入港料対象船舶 1億5,000万 t (2) 港湾施設運営 : 上屋専用 3,500万 m ² 、一般 3,300万 m ² 荷役機械 400回/30分 船舶給水 16万 m ³
新都市整備事業会計	土地売却量 : ポートアイランド(第2期) 31,000m ² 西神住宅第2団地 8,000m ² ひよどり台第2期住宅団地 32,700m ² 押部谷第2団地 3,300m ² 神戸複合産業団地 56,600m ² 神戸流通業務団地 2,300m ² 完成団地 300m ²
自動車事業会計	(1) 運転車両数 : 161,772両/年、442両/日 (2) 運転キロ : 16,406,609km/年、44,827km/日 (3) 輸送人員 : 54,440,798人/年、148,747人/日
高速鉄道事業会計	(1) 運転車両数 : 66,964両/年、183両/日 (2) 運転キロ : 22,379,103km/年、61,145km/日 (3) 輸送人員 : 103,103,664人/年、281,704人/日
水道事業会計	(1) 給水量 : 167,551,000m ³ /年、457,790m ³ /日 (2) 給水戸(箇所)数 : 822,666戸(箇所)
工業用水道事業会計	(1) 給水量 : 15,647,392m ³ /年、42,752m ³ /日 (2) 給水工場数 : 73工場

5 一時借入金の状況

令和6年3月31日現在

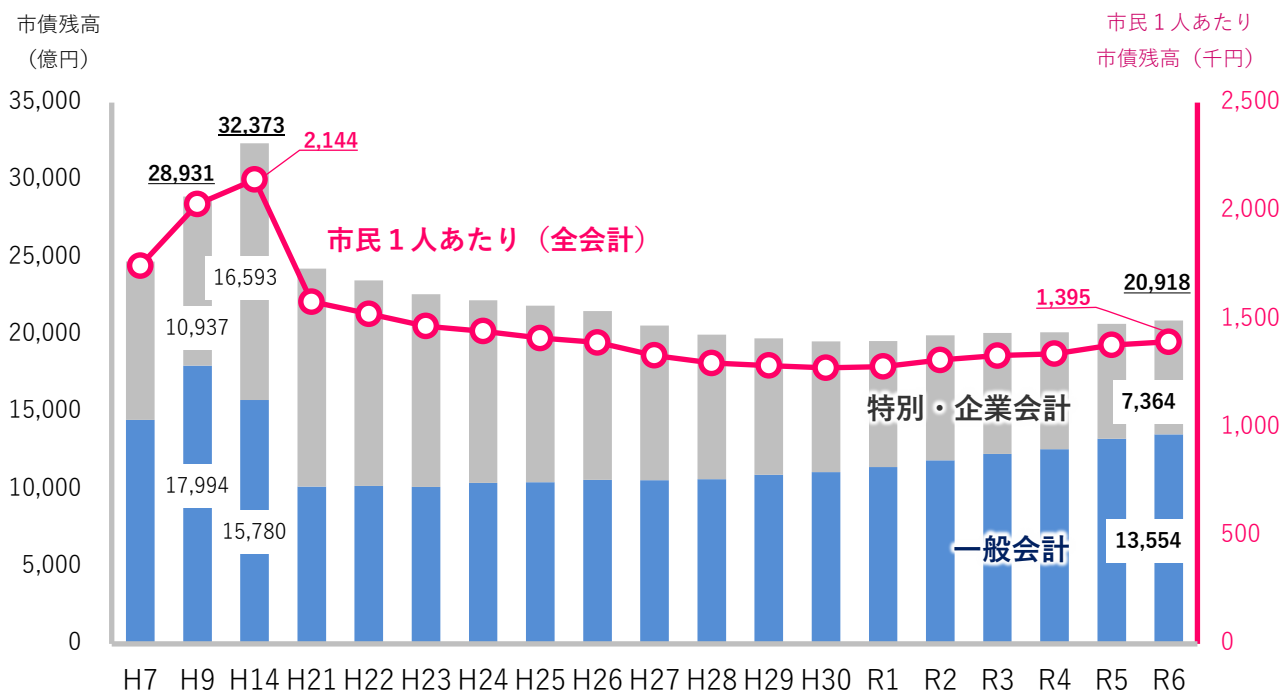
会 計		借入限度額	現 在 高
一 般 会 計		900億円	-
企 業 会 計	下 水 道 事 業 会 計	10億円	-
	港 湾 事 業 会 計	200億円	-
	新 都 市 整 備 事 業 会 計	-	-
	自 動 車 事 業 会 計	45億円	15億円
	高 速 鉄 道 事 業 会 計	175億円	-
	水 道 事 業 会 計	30億円	-
	工 業 用 水 道 事 業 会 計	7億円	-
合 計		1,367億円	15億円

(注) 特別会計の一時借入金はありません。

6 市債の状況

市民生活や産業振興などに必要な都市施設の整備や、安全で安心なまちづくりを進めるために市債を発行しています。事業の優先順位を明確化し、施策の重点化を行うことによって、将来世代に大きな負担を残さないよう、市債残高の適正な管理に努めています。

	令和4年度末 現在高	令和5年度末 現在高見込額	令和6年度末 現在高見込額
一 般 会 計	1兆2,592億円	1兆3,264億円	1兆3,554億円
特 別 会 計	1,663億円	1,683億円	1,613億円
企 業 会 計	5,886億円	5,744億円	5,751億円
合 計	2兆 140億円	2兆 691億円	2兆 918億円



(注) 市民1人あたりは各年度3月末現在の住民基本台帳登録人口により計算しています。
(「R5」「R6」はR5年12月末現在の住民基本台帳登録人口により計算しています。)